

那覇港だより

な は みなと

2024. 9. 10

第30号

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

目次

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- 1 RORO船って何? ~新造船「かりゆしⅡ」が就航しました!~ . . . 1
- 2 那覇港の脱炭素化の取組 ~カーボンニュートラルポート(CNP)形成を目指して~ . . . 3
【寄稿】水中観光×CO2吸収源の見える化 . . . 4
- 3 那覇港の「みなとまちづくり」の取組をご紹介します . . . 5
- 4 那覇港利用のルート転換で補助金最大100万円!
~令和6年度 那覇港輸送効率化支援事業~ . . . 6
- 5 那覇港とぴっくす(那覇港の動き) . . . 7
- 6 那覇港写真館 . . . 8



ローロー RORO船って何？

新造船「かりゆしⅡ」が就航しました！

(総務課)

沖縄では99.4%(令和4年実績)もの貨物が海から運ばれて来るって、知っていましたか？

令和6年7月16日、沖縄の物流を支える那覇港に、貨物を積んだ車両や荷台ごと輸送する最新鋭のRORO船(ロールオン・ロールオフ型貨物船)、「かりゆしⅡ」が就航しました！

琉球海運株式会社による内覧会に参加しましたので、船内の様子をご紹介します！

かりゆしⅡ 主要目

船種：ロールオン・ロールオフ型貨物船

全長：181.51m

幅：26m

総トン数：11,614t

重量トン数：7,240t

航海速力：21.3ノット

就航航路：博多・鹿児島・那覇

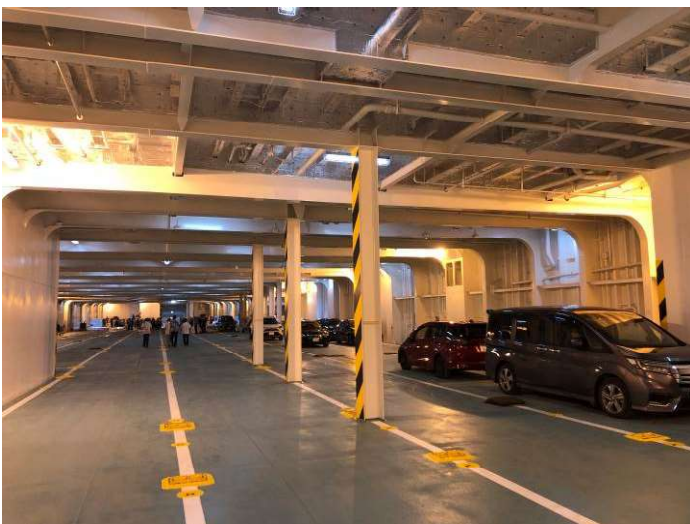
積載貨物：40Fトレーラー168台

乗用車(RV)281台

運航会社：琉球海運株式会社



車で乗船すると...



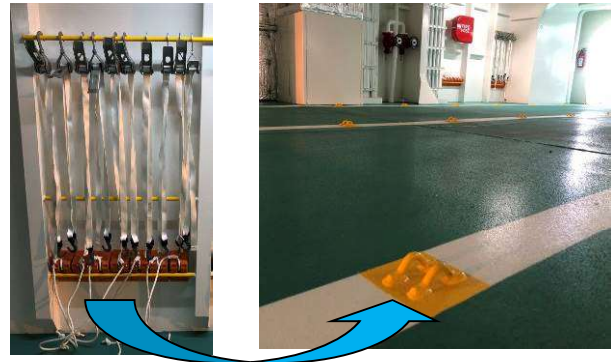
広々とした貨物スペースです！



実は、スロープ上にも駐車可能なんです(船内空間をフル活用！)



この状態で船内に入り（ROLL-ON）



荷台はそのままベルトで船内に固定し、けん引車は下船（ROLL-OFF）するため、積み卸しが早い！！



ハンドルは意外にコンパクト



最適運航支援システムの導入等で省エネも実現



「慣れた航路も初航路」の標語や神棚から安全意識の高さがうかがえます



沖縄の景色に映える白とターコイズブルーの船体で、那覇港にかりゆし（縁起がよいこと）を運んでくれることでしょう！

那覇港の脱炭素化の取組

～カーボンニュートラルポート(CNP)形成を目指して～

(計画建設課)

カーボンニュートラルポート(CNP)とは

世界的に脱炭素社会への意識が高まる中、日本も2050年カーボンニュートラル等の目標を掲げています。

日本において港湾は、輸出入貨物の99%以上が経由する国際サプライチェーンの拠点の他、CO2排出量の約6割を占める発電所、化学工業等の多くが立地するエネルギーの一大消費拠点となっており、目標達成には港湾の脱炭素化は欠かせません。

そこで国では、脱炭素社会の実現に貢献するため、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図る「カーボンニュートラルポート(CNP)」の形成を推進しており、那覇港においては、脱炭素社会の実現に向けた取組の一環として、官民連携による脱炭素化の取組を定めた「那覇港港湾脱炭素化推進計画」の策定に向けた検討を進めています。

沖縄における那覇港の位置づけ

令和3年度「沖縄におけるCNP形成に向けた懇談会」において、県内重要港湾のCNP形成に向けた方向性を沖縄総合事務局が取りまとめました。その中で、那覇港においては、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化を先行して進めつつ、他の港湾に効果的に展開していくこととしています。

【具体的な取組の検討例】

① 荷役機械等の低炭素化・水素燃料化
・電動化（ハイブリッド）、FC化、再エネ由来電源への転換等を検討



ガントリークレーン ストラドルキャリア フォークリフト

② 輸送車両（トラック等）のFC化



FCトラック 水素ステーション

③ 陸上電力供給施設、燃料供給体制整備



陸上電力供給施設(泊ふ頭地区)



出典：沖縄総合事務局「沖縄におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた方向性」

那覇港の取組

○那覇港港湾脱炭素化推進協議会

計画をより実行性あるものとするため、港湾関係者等で構成する「那覇港港湾脱炭素化推進協議会」を設置し、本協議会において各種検討を行っています。



協議会の様子(第2回:R6.3.15)

○検討スケジュール(案)

協議会	主な検討内容
第1回 (R5.7.12開催)	計画作成の進め方
第2回 (R6.3.15開催)	CO2排出量推計、削減目標・計画 2030までに26%削減
第3回 (R6.10～)	将来構想、ロードマップ、素案作成

「那覇港港湾脱炭素化推進計画」の策定

港湾の脱炭素化においては、CO₂の削減だけでなく吸収源(ブルーカーボン)も重要な要素となりますが、もしかしたら那覇港のサンゴ礁もブルーカーボンになりうる可能性が...

以下では、そんなブルーカーボンの可能性と水中観光を絡めた事業を営む、地元企業さんをご紹介します!

水中観光×CO₂吸収源の見える化

(株)マリン観光開発 早川 一正 さん

○ブルーカーボンとは

2009年に公表された国連環境計画(UNEP)の報告書「Blue Carbon」において、海洋生態系に取り込まれた炭素が「ブルーカーボン」として定義されました。

現在、海洋のCO₂吸収源として海草藻場、塩性湿地、マングローブが「ブルーカーボン」と認定され、陸上の森林などに取り込まれた炭素「グリーンカーボン」と共に、CO₂吸収源対策の新しい選択肢として世界的に注目され始めています。

○那覇港のブルーカーボンの可能性

(那覇港にサンゴ礁があるのを知っていますか?)

マリン観光開発は、泊港を発着、那覇港内「自謝加瀬(じじゃがせ)」に広がるサンゴ礁を鑑賞ポイントに、水中観光船(本船)を運航しています。

この運航の中で、鑑賞ポイントにおけるサンゴ礁上の海中CO₂濃度が、周辺海域より低くなる傾向が見つかりました。

このようなサンゴ礁海域での現象から、現在「ブルーカーボン」とされている海草藻場・塩性湿地・マングローブと同様に、サンゴ礁もCO₂吸収源になっていると推測され、研究者の間でも「ブルーカーボン」としての可能性が議論されています。

もし、サンゴ礁がCO₂吸収源「ブルーカーボン」と認定された場合、サンゴ礁は単位面積では海洋で最大、陸上の「グリーンカーボン」と同等かそれ以上のCO₂吸収源となる可能性があります。

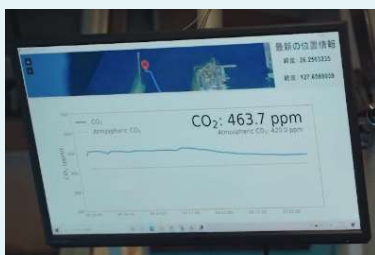
サンゴ礁の「ブルーカーボン」認定に向けた試みとして、本船は海中のCO₂濃度の観測機器を搭載した運航により、那覇港のサンゴ礁海域で「ブルーカーボン」の可能性を実証する観測データを積み重ねています。

○「ブルーカーボン・クルーズ」、ブルーカーボンの見える化(啓発・普及)

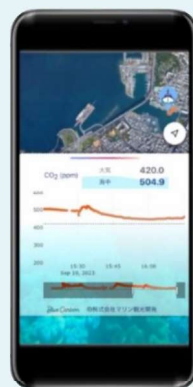
「ブルーカーボン・クルーズ」は、本船に搭載した観測機器により、海中CO₂濃度の変化を乗船客のスマートフォンでリアルタイムに「見える化」し、サンゴ礁の水中鑑賞と「ブルーカーボン」の可能性を実感いただくことで、乗船客がSDGs、気候変動、カーボンニュートラル等について、身近に考える機会を提供するクルーズとなっています。



ブルーカーボンクルーズの様子



観光船として初めてCO₂測定装置を搭載



専用アプリでCO₂濃度が見える化

那覇港の「みなとまちづくり」の取組をご紹介します

那覇港管理組合では、世界と沖縄、琉球の歴史・文化を繋ぎ、観光の高付加価値化に導く“みなと”づくりに取り組んでいます！

- ◆国際クルーズ受入環境の整備
- ◆クルーズターミナル及び周辺の利便性・快適性向上
- ◆みなと緑地を活用したイベント
- ◆小型船係留施設等の検討



海洋レクリエーション環境の向上

- ◆みなとまちづくりの拠点を繋ぐ水際線のフロムナード整備
- ◆水辺空間を繋ぐ港内海上交通ネットワークの検討

◆那覇ふ頭地区の再開発イメージ

参考: 天王洲アイルの様子

出典: 東京都港湾局HP

- ◆大型クルーザー対応のマリーナ
- ◆自然環境を活かした観光・ビジネス拠点



令和5年度からは現行の”みなとまちづくり”の見直しを開始しており、那覇港をより魅力あふれる“みなと”にしていくため各種検討を行っています！

- 地元・学生ワークショップ等の開催
- 民間活力によるみなと緑地の利活用の検討
- “みなとまちづくり”検討のための委員会設置

etc...



那覇港の「交流・賑わい」づくり等について、ご意見等あれば下記までお問い合わせください。

※頂いたご意見は公表せず、当組合内の検討の参考にさせていただきます。

那覇港管理組合
計画建設課

☎ 098-868-0336

✉ Kumiai@nahaport.j

皆様のご貴重なご意見お待ちしております。

那覇港利用のルート転換で補助金最大100万円!

令和6年度 那覇港輸送効率化支援事業

《事業目的》

■ 那覇港を利用する国際コンテナ貨物の効率的な輸送パターンへのシフトを支援することにより、那覇港における国際コンテナ貨物の増大と那覇港を利用する輸送の効率化を促進することを目的としています。

《補助対象》

- 海上輸送費・陸上輸送費・保管費等の本事業で要した経費のうち**50%**が対象
- **1事業(1ルート)**あたり最大**100万円**

《対象要件》

※詳細は公募要項等を参照ください。

- ① 国際コンテナを取り扱う荷主、物流事業者、商社等であること
- ② 輸送パターンⅠ型、Ⅱ型に合致するルートであること
- ③ 那覇港を今後継続的に利用する計画であること

《輸送パターン例》



那覇港のサービス概要

- 外国航路**7航路**(北米、台湾、中国、韓国など)
- **2バース体制**(岸壁延長計650m、水深14~15m)
- ガントリークレーン**3基**、リーファー電源**126口**
- 総合物流センター隣接(**4温度帯**対応)



那覇港管理組合

Naha Port Authority

【お問合せ先】
那覇港管理組合 みなと振興課
企画・物流班
TEL : 098-868-2582



那覇港とびっくす



4月に初寄港したクルーズ船

4/1(月)、4/4(木)

- 4月1日、12階建てのセレナーデ・オブ・ザ・シーズ号(総トン数90,090トン、乗客定員2,476人)が那覇第2クルーズバースに初寄港しました。(写真・上)
- 4月4日、全客室スイートのシーボーン・オデッセイ号(総トン数32,000トン、全長198m、乗客定員数470人)が那覇クルーズターミナルに初寄港しました。(写真・下)



波の上ビーチ海開き

4/7(日)

- 毎年恒例の海開きイベント、「2024年波の上ビーチ海開き」が行われました。オープニングセレモニーでは、那覇港管理組合の照屋副管理者、組合議会の島尻議長等による挨拶、こどもたちのエイサーが行われました。
- あいにくの小雨で少し冷たい海でしたが、こどもたちは元気に初泳ぎを楽しんでいました。また、水中宝探しゲームやシーカヤック体験等も行われ、大いに盛り上がりました。



5月に初寄港したクルーズ船

5/3(金)、5/23(木)

- 5月3日、16階建てのスペクトラム・オブ・ザ・シーズ号(総トン数169,379トン、乗客定員4,246人)が那覇第2クルーズバースに初寄港しました。(写真・上)
- 5月23日、極地や秘境をクルーズする探検船ハンセアティック・スピリット号(総トン数15,650トン、乗客定員230人)が那覇クルーズターミナルに初寄港しました。(写真・下)



6月に初寄港したクルーズ船

6/2(日)

- 13階建てのノルウエージャン・スピリット号(総トン数75,904トン、全長268.6m、乗客定員数2,018人、乗組員数912人)が、那覇クルーズターミナルに初寄港しました。
- 同船は今年さらに25回の那覇港寄港を予定しています！



父の日お魚フェア

6/15(土)~16(日)

- 泊漁港にて、沖縄鮮魚卸流通協同組合主催、那覇港管理組合ほか後援による「第15回 父の日お魚フェア 本まぐろ祭り」が5年ぶりに開催されました。
- まぐろ解体ショー、模擬競り、利きイマイユ選手権などのイベントが目白押しで、会場は多くの家族連れや観光客などでにぎわいました。



8月に初寄港したクルーズ船

8/11(日)

- ブルー・ドリーム・メロディー号(総トン数42,289トン、全長203m、乗客定員数1,266人)が、那覇クルーズターミナルに初寄港しました。
- 船体には音符や楽器の絵が描かれ、同船の明るく、楽しい雰囲気を感じさせています。船内にはサウナや、キッズエリアなどが有り、乗客の年齢層に関係なく船旅を楽しむことができます。

那覇港写真館



那覇ハーリーの開幕



クルーズ船の歓迎セレモニー



那覇港全景

***** 那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先*****

那覇港管理組合 総務部 総務課
 〒900-0035 那覇市通堂町2番1号
 TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629
 e-mail: kumiai@nahaport.jp